

わたしたちは
確かなものづくりを通して
豊かな社会の実現に貢献します

目次	株主の皆様へ.....	1
	トピックス.....	2
	完成工事ハイライト.....	4
	中間連結決算のご報告.....	5
	経営成績、事業別の営業の成果	
	損益の状況、財務の状況	
	連結貸借対照表要旨、連結損益計算書要旨	
	連結キャッシュ・フロー計算書要旨	
	中間単体決算のご報告.....	7
	貸借対照表要旨、損益計算書要旨、財務レビュー	
	会社の概況.....	8
	商号、沿革、設立、営業種目	
	資本金、株式の状況	
	大株主の状況、株価の推移	
	取締役および監査役、執行役員	
	事業所	

第106期上半期中間事業報告

株主の皆様へ



平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第106期(平成18年4月1日から平成19年3月31日)を上半期を終了いたしましたので、連結および単体を含め、会社の近況をご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、企業収益の改善、設備投資の増加と個人消費の緩やかな増加などを背景に、民間需要に支えられ景気は回復しております。しかしながら、原油価格の動向が内外経済に与える影響等には引き続き留意する必要があり、先行きの不透明感が払拭できていない状況にあります。

建設業界におきましては、民間建設投資が企業収益の改善を受けて堅調に推移していますが、公共投資の縮減傾向は引き続き厳しい状況にあります。特に道路建設業界では主力の公共工事分野の縮減と原油価格高騰による材料費上昇などの影響を受け、さらに厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、各社が有する技術の優位性を活かした舗装工事、土木工事、建築工事等の工事受注の確保、アスファルト合材等の製品販売の拡大、開発事業等の強化に努めるとともに、コスト削減による一層の収益力の向上に取り組んでまいりました。

その結果、連結ベースで申し上げますと、当中間期の売上高は1,547億円11百万円、経常利益は1億35百万円、純利益は59百万円となりました。

下半期の経営環境につきましては、国内民間需要に支えられた景気の回復が続くと見込まれますが、原油価格の動向や海外経済の減速など景気の下押し要因には十分留意する必要があります。

こうした中で、建設業界においては民間設備投資が増加基調にあるものの、公共投資は国、地方を通じて引き続き前年を下回るものと考えられます。特に道路建設業界は、この公共投資縮減の影響を大きく受けるため、引き続き厳しい状況が予想されます。

このような環境にあっても、当社グループは、技術と経営に優れた企業集団として生き残るため、技術力の向上、営業力の強化に努めるとともに、生産性の向上とコスト削減を確実に進め、競争力の強化に取り組んでまいります。そして、舗装工事、土木工事、製品販売の収益基盤のいっそうの確立を進めるとともに、建築、開発、プラントエンジニアリング、土壌浄化等の分野の収益力向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格段のご支援、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

平成18年12月

株式会社 NIPPOコーポレーション

代表取締役社長

林田 紀久男

トピックス

施工実績が増加中の多機能性舗装

第3回国土技術開発賞 受賞

高機能砕石マスチック舗装 スーパーエスマック



北海道音更町 十勝中央大橋
での施工風景

耐久性に優れる「砕石マスチック」と「排水性舗装」の機能を併せ持つ、新しいタイプの多機能性舗装です。

高い耐久性が求められる重交通道路の表層や、積雪寒冷地域の排水性舗装の代替として最適な工法です。また、凍結防止剤の残留効果があることから、交通安全への寄与も期待され、全国的に施工実績が広がりを見せています。



表面のキメ

スーパーエスマックの舗装断面



抜群の交通事故防止効果とメンテナンスフリーで注目の舗装

切削型注意喚起舗装 ランプルストリップス



岐阜県瑞浪市内の県道での施工風景

道路舗装の中央線部や路肩部に、ラインに沿って不連続に設けた凹型の切削溝です。運転者の脇見や居眠り運転等により、ランブルストリップス上を通過した車両に振動と騒音が発生。ドライバーに強い警告を与え、未然に事故を防ぐことができます。

また、除雪作業による破損がなく、維持管理費用や手間がかからないことから、施工実績が増加しています。

効果が期待される箇所

単調な郊外の道路や高速道路（居眠り防止）
観光地の道路（脇見防止）
故意に車線を逸脱する車両が多い箇所



正面衝突事故を防止

ランブルストリップスの設置効果

正面衝突事故件数：52%減少

死亡者数：70%減少

（寒冷土木研究所HPより）



暫定2車線の高速道路での施工例

アセットマネジメントの観点から道路維持修繕計画に最適なツール

路面性状測定車 ロードスキャン



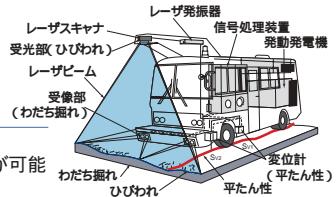
ロードスキャンの特長

- ・測定時の走行速度：最大85km/h
- ・アスファルト、コンクリート舗装が混在する区間でも連続測定が可能
- ・車線幅員が変化しても連続測定が可能(測定範囲：3m～4m)

路面のわだち掘れやひびわれ、平坦性といった性状を、迅速かつ経済的に計測できる自動測定車で、従来難しかった昼間測定も可能です。

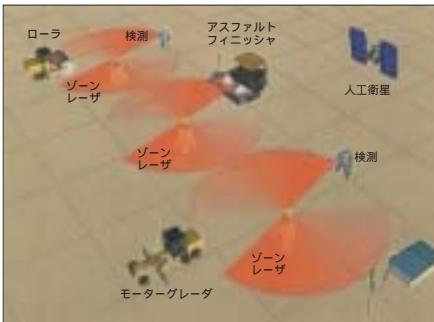
測定結果は維持管理指数(MCI)等によって定量的に評価できるほか、路面状況を写真で確認できます。

道路を資産と捉えて、最適な投資によって最大の利益を得る「道路アセットマネジメント」が重要視される中、将来を的確に予測した計画作成に用いられています。



GPSとレーザによる新しいIT施工形態

情報化施工 NSPシステム



人工衛星を利用して現在位置を測定するGPSと、ゾーンレーザによる高さ制御技術を組み合わせることで、複数の施工機械を高精度で自動制御できる情報化施工システムです。

作業の合理化や省熟練化、精度・品質の向上、環境負荷低減等に成果を挙げています。

IT技術を駆使した新しい施工方法として、注目されています。

NSPシステムのイメージ

NSPシステムの施工フロー



三次元設計データの作成



データのダウンロード



施工機械や計測者がデータを共有化し施工



完成工事ハイライト



● 名神高速道路
石仏高架橋
床版補強工事
【愛知県】

● 観音寺競輪場
走路改修工事
【香川県】



● マンション新築工事
【京都府】